

市長への手紙 ご意見とその回答（令和6年11月）

質問	<u>バスの乗り継ぎ検索アプリ開発のお願い</u> 80代の両親が自動車運転免許返納への練習でバス生活をしています。行きたい場所に行くためには、乗り継ぎをしないと辿り着けません。今は時刻表とにらめっこでどうにかやっているようです。しかしかなりややこしく、大変だと言っています。 電車の乗換案内のような「出発地」と「到着地」を指定すればルートと所要時間がわかるアプリがあると、バスを利用するのももっと楽になると思います。 ここが難解ですと、免許返納を渋る人の気持ちはよくわかります。 高齢者の免許返納を促すためにもぜひ、関東鉄道バスとコミュニティバス合同で乗り換えアプリを作っていただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。
回答	いただきましたご意見の通り、高齢の方がバスを利用する際に、複雑な乗り継ぎや時刻表の確認は大きな負担となることが多いかと思います。特に運転免許を返納された方々にとって、公共交通機関を利用する際の利便性向上は重要な課題であると認識しております。 本市及び関東鉄道株式会社では、バスの運行状況をリアルタイムで確認できるバスロケーションシステム（※）をそれぞれ提供しているところではございますが、現在のところ、ご要望のありましたバスの乗り換えアプリを開発する予定はございません。 なお、「NAVITIME」や「ジョルダン」といった、民間企業が提供する経路検索サービスでは、鉄道やバスなど様々な交通手段を組み合わせた移動パターンを確認することが可能となっておりますので、ご利用を一度ご検討いただければ幸いです。 こちらの経路検索サービスは、全国の交通事業者や自治体等が提供した運行ダイヤ等の情報を基に提供しているものとなっております。 また、地域公共交通の利用に際し、何かご不明な点等ございましたら、以下記載の担当課へお問い合わせいただければと存じます。 ※バスロケーションシステム スマートフォンやパソコンから、乗車したいバスの時刻表や運行状況がリアルタイムに表示でき、停留所への到着予測時刻や渋滞による遅延情報などが簡単に把握できるようになるサービス 【担当：都市計画課】
質問	<u>資源ごみの回収に関しまして</u> いつもお仕事お疲れ様です。

	さて、早速ですが、単刀直入に書かせていただきます。 資源ごみの回収日を増やしてくれませんか？ 今や通販戦国時代。 アマゾンを始めとして、多くのサイトが通販を行っています。 そこで発生するのが、大量のダンボール箱の資源ごみです。 回収日にはダンボール箱が山積みになっています。 月2回では足りないからではないでしょうか？ 大変だとは思いますが。 しかし何とかして回収日を増やせないものでしょうか？ どうかよろしくお願いいたします。
回答	近年、インターネット通販によるダンボール資材の流通が多くなっている現況は承知しております。 ご意見にありました資源物の回収につきまして、回数を増やすことにより、市民の皆様の利便性が向上するものと考えますが、当番制などにより適正な分別のために立哨・見守りにご協力いただいております地域のご負担が増えること、委託業者の回収運搬費用の増加が見込まれるなど、費用対効果を考慮しますと、回収回数を増やすことは難しいと考えております。 本市においては、月2回・平日の排出では難しい方のために、資源物の排出機会の確保として、毎週日曜日にサンデーリサイクルを市内3か所（市役所北側駐車場・竜ヶ崎工事事務所駐車場・さんさん館駐車場）にて実施しております。 また、近年ではスーパー等の店頭において、資源物回収を実施している事業者もございますので、ご事情に合わせてご活用いただければと存じます。 引き続き循環型社会の構築に向けた資源物リサイクルへのご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 【担当：生活環境課】

質問	<u>新型コロナワクチン後遺症患者救済についての提案</u> 予防接種健康被害救済制度について、奈良県や春日井市のようにホームページや幅広い広報媒体で分かりやすく案内する事。 予防接種健康被害救済制度申請希望者に、分かりやすい書き方案内を作成し、希望者に案内を配布、ホームページや幅広い広報媒体で周知する事。 市内全ての病院に対して予防接種健康被害救済制度を希望される患者さんに、受診証明書の記載やカルテの写しの拒否をしないように通達を出す事。病院用に「受診証明記載マニュアル」を作成しホームページ広報で案内する事。また作成したマニュアルを医師会、各病院に分かりやすく案内、
----	---

	周知する事。 ワクチン接種記録の保管期限延長、若しくは接種者手帳の発行を国に働きかける事。 市内の小中学校に通う、ワクチン健康被害の児童・生徒に対する、教育を受ける機会の保持の為、被害を把握するための調査を行い、各学校に体調不良で通えなくなった子供にオンライン授業を検討したり、出席日数に関して、診断書がある場合出席停止扱い等を検討したり、進級卒業に関し柔軟な対応を行うよう各学校に通知する事。 ワクチンによる健康被害によって職を失った方、体調不良による再就職の難航者に対する生活の救済の為、調査を行い必要な処置を行うよう、国に働きかける事 参考資料 奈良県 HP 健康被害急性制度における「受診証明」の記載マニュアル（第3版） https://www.pref.nara.jp/secure/306958/jushinsyoumeisyo_manual.pdf 春日井市 HP 健康被害救済制度における「受診証明書」の記載マニュアル（第1版） https://www.city.kasugai.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/032/746/kasugai-jyushinsyoumei-kisai.pdf 回答を希望します。宜しくお願いします。
回答	本市では、医療対策課において、新型コロナワクチン接種後に副反応が出た方や、副反応による健康被害が生じた方からの相談に対応しており、国の予防接種健康被害救済制度については、市公式ホームページや個別通知等を利用してご案内しております。 なお、救済制度の相談及び申請の際には、保健師等の専門職による丁寧な聞き取りの上、申請手続を進めるサポートをしております。 また、受診証明書や診療録の取得については、必要に応じて、申請者同意の上、市と医療機関の担当者が互いに連絡を取り合い、適切に処理できるように努めております。 今後につきましても、他自治体における広報等周知内容の事例を参考とさせていただくとともに、健康被害に遭われた方々に寄り添いながら丁寧な対応に努めたいと考えております。 【担当：医療対策課】